

# 摂食・嚥下の研修報告

1月27日(水) 18:30~19:30 1階食堂で開催しました。

10月の研修に引き続き、ひまわり歯科の山崎康弘先生をお迎えし、講演していただきました。

今回は聴診器を使い、呼吸音や嚥下する音を参加者同士で聞き合う実習も行いました。ゴクツという強い音は良いことだと思っていたのですが、努力性嚥下ということで、嚥下の力の低下のためだそうです。

また、不顕性誤嚥は誤嚥と気付かれないうちに症状が重篤になる可能性があるため、その予兆(微熱が続く、高熱 37.5 度以上、痰の色が黄色、呼吸が乱れる、聴診時雑音がある)を早めに気付くことの大切さを学びました。前回と同様大変わかりやすい内容でした。

参加者は35名と多くの職員に受講していただきました。

